

インド原生代東ガート帯の高温型グラニュライトの形成年代と源岩の推定

Geochronology and protolith interpretation of high T granulites in the Eastern Ghats Granulite Belt, India

高野 直 [1] , # 有馬 眞 [2]

Naoshi Takano [1], # Makoto Arima [2]

[1] 横浜国大・教・地球科学, [2] 横国大・教育人間科学

[1] Department of Earth Sci., Yokohama Nat. Univ., [2] Geolo. Instit. Yokohama Natl. Univ.

原生代インド東ガート帯、Visakhapatnam周辺に分布する高温型グラニュライト相変成岩のSm-Nd, Rb-Sr同位体組成と地球化学的特徴を検討した。Charnockiteから約10億年の活動的大陸縁での火成活動が、Basic granuliteから19億年の沈み込み帯における玄武岩火成活動と14億年の拡張場の玄武岩火成活動が推定された。また、10–5億年の変成作用年代が得られた。

無し